

2024年度 秦野こども未来づくり会議が考える 未来づくりのアイデア



秦野こども未来づくり会議について

目 的

本市では平成9年に策定された「はだの子ども人権宣言」の実現を目指し、平成20年より「いじめを考える児童生徒委員会」を設置し、「いじめ撲滅」をテーマに15年間活動してきたところです。

一方で令和4年6月には「こども基本法」が成立し、こども等の意見を反映する機会等の確保について定められたことを契機に、令和5年からは「いじめが起きにくい学校づくり」に向けた各校の取組を推進するとともに、「秦野こども未来づくり会議」と名称を変更し、これからの学校づくりや街づくりに児童生徒の意見が反映される新たな仕組みづくりを目指すものです。

【第1回秦野こども未来づくり会議】

1 日 時

令和6年6月2日（日）午前9時30分から正午まで

2 会 場

秦野市役所教育庁舎大会議室

3 参加者

(1) 児童生徒委員	43名
(2) 教職員	35名
(3) 教育長	1名
(4) 教育委員	2名
(5) 教育部長	1名
(6) 市P連会長	1名
(7) 教育委員会事務局	13名
(8) 合計	96名



会議開始前の緊張している様子

4 当日の活動内容

会の冒頭には、教育長より各校の代表児童生徒に委嘱状が渡され、来賓の皆様からの激励の言葉をいただいた後に、この会議の活動や目的について担当指導主事より説明を受けました。

委嘱式後には、後半の協議等が活発に行われるよう中学校区ごとに児童生徒の共通点を探す等のアイスブレイキングを取り入れ、和やかな雰囲気になったところで各校のいじめ防止活動がより充実するよう情報交換を行って

ます。

後半には担当指導主事より、主権者教育の視点から、市民の声が実現されるまでの社会の仕組みについて説明を受けるなど、指導主事も加わり次回の協議に向けた雰囲気づくりに努めました。



中学校区ごとに行われた顔合わせと活動報告

【第2回秦野こども未来づくり会議】

1 日時

令和6年8月19日（月）

午前9時30分から正午まで

2 会場

秦野市立堀川公民館

3 参加者

- | | |
|---------------|-----|
| (1) 児童生徒委員 | 38名 |
| (2) 教職員 | 38名 |
| (3) 来賓 | 2名 |
| (4) 教育委員会事務局等 | 14名 |
| (5) 合計 | 92名 |

4 当日の活動内容

(1) アイスブレイク

初めに児童生徒の緊張を和らげるためのアイスブレイクとして「実は〇〇+GOOD&NEW」を行い、場の雰囲気が和やかになりました。

(2) 総合政策課が語るまちづくりとは

今年度は市制施行70周年に向けて、秦野のまちづくりの根幹となる総合計画の立案を担当している、総合政策課の職員をゲストとして招き、児童生徒が1学期末に行ったまちづくりに関するアンケートの結果について



会議の様子



アイスブレイクの様子

も報告があり、児童生徒が考える未来づくりのアイデアの参考となりました。

(3) 横山議長に聴く

当初は、市議会から横山むらさき議長をお招きする予定でしたが、臨時議会と重なったため、動画出演となり、児童生徒が前回の会議で考えたまちづくりに関する質問について、「まちづくりで大切なことは当事者意識を持つこと。」、「こども目線でアイデアを出していくことも大事。」などのお話をいただきました。

(4) グループディスカッション

後半は、中学校区ごとに個人で考えた未来づくりに向けたアイデアを共有するとともに、中学校区のテーマを決め、具体的な内容を協議しました。



協議の様子

【はだのっ子未来づくりフォーラム】

1 日 時

令和6年12月1日（日） 13時から16時15分まで

2 会 場

秦野市立西中学校

3 参加者

(1) 児童生徒委員	42名
(2) 教職員	44名
(3) 保護者	30名
(4) 地域（学校運営協議会委員）	15名
(5) その他（教育委員等）	22名
(6) 合計	153名



午前中の準備状況

4 当日の活動内容

(1) 高橋市長とのパネルディスカッション

まちづくりをテーマに、高橋市長と代表児童生徒によるパネルディスカッションを行いました。子どもたちからの質問に対して、市長から秦野の魅力や子どもたちが暮らしやすくなるための取組について説明があり、真剣な眼差しで一生懸命にメモをする子どもたちの姿が多数見られました。また、パネルディスカッション後には中学校区ごとに大人を交えて市長の話を受けての感想を共有し、意識向上を図っています。

(2) 「未来づくりのアイデア」の発表

ポスターセッションでは、中学校区ごとに今年度話し合いを重ねてきた明るい未来づくりのアイデアの発表を、自分の地区以外の参加者を対象に実施しました。参加者からは「ICTが進む世の中、人との関わりを今まで以上に意識していくことが大切。」や、「豊かな自然を守り続ける大切さを改めて感じました。」などのコメントが寄せられました。

【中学校区ごとの「未来づくりのアイデア」テーマ一覧】

本町	秦野の魅力をたっぷり詰め込んだレジャー施設
南	一日中遊べるまち in 秦野
東	人と関わる未来の秦野
北	私たちが描く秦野の未来
大根	学校の環境
西	住みやすいまち
南が丘	人口と暑さ対策
渋沢	楽しく学べる場所を作って優しい気持ちを育もう
鶴巻	小・中・地域とのつながりの輪

(3) 中学校区別協議

ポスターセッション後には、中学校区ごとに自分たちの地区に住んでいる大人向けに、再度未来づくりのアイデアを発表し、「明るい未来づくりに向けて何が大切か。何ができるか。」をテーマに、子どもや大人、地域や先生などそれぞれの立場からグループ協議を行いました。

(4) 総括

閉会式では、教育委員や学校運営協議会委員から講評をいただいた後、東中の安藤委員長から参加者へ「未来づくりについて、自分の事として捉えてもらい、これから自分ができることを考え、行動してほしい。」とのメッセージで会を閉じました。



中学校区ごとの発表の様子



協議の様子

9中学校区の「未来づくりのアイデア」(まとめ)

1. 本町中学校区 (P6)
【本町小学校・末広小学校・本町中学校】
2. 南中学校区 (P7)
【南小学校・南中学校】
3. 東中学校区 (P8)
【東小学校・東中学校】
4. 北中学校区 (P9)
【北小学校・北中学校】
5. 大根中学校区 (P10)
【大根小学校・広畑小学校・大根中学校】
6. 西中学校区 (P11)
【西小学校・上小学校・堀川小学校・西中学校】
7. 南が丘中学校区 (P12)
【南が丘小学校・南が丘中学校】
8. 渋沢中学校区 (P13)
【渋沢小学校・渋沢中学校】
9. 鶴巻中学校区 (P14)
【鶴巻小学校・鶴巻中学校】

1. 本町中学校区

「秦野の魅力をたっぷり詰め込んだレジャー施設」

◆構成小学校・中学校

本町小学校・末広小学校・本町中学校

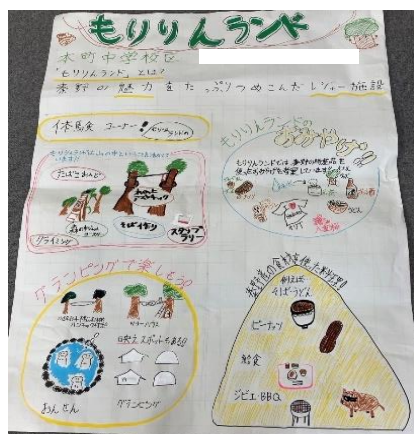
◆検討テーマ

1 あなたが思う「住みたくなるようなまち」とは？

- ① 元からあるものを活かしつつ、流行を取り入れている
 - ・ いこいの場がある
 - ・ 自然がある
- ② 未来を見据えたまちづくり
 - ・ 18歳まで医療費が無料
 - ・ 若い人の発想を取り入れている
 - ・ 災害に強いインフラの整備

2 そのために「必要なこと」、「できること」とは？

- ① 秦野の良さを生かしたまちづくり
 - ・ 秦野の特産品を使ったお土産を考案し、販売する
 - ・ 秦野産の食材を使った給食
 - ・ 道路を広くし、交通渋滞をなくす
- ② 自然を生かした体験ができる場所をつくる
 - ・ グランピング
 - ・ 木の上のアスレチックやツリーハウスなど自然を生かした遊び場



2. 南中学校区

「一日中遊べるまち in 秦野」

◆構成小学校・中学校

南小学校・南中学校

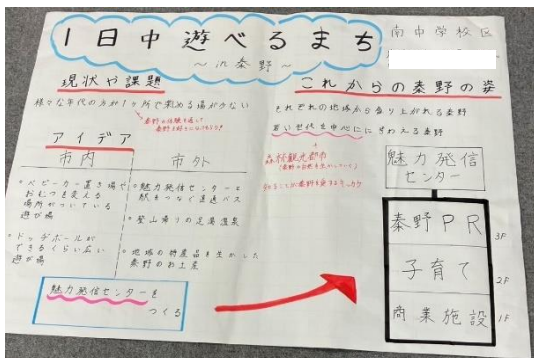
◆検討テーマ

1 若い世代が新たに秦野に移住、そして子育てするきっかけとは？

- ① 各場所にベビーカー置きスペースや、多目的トイレがきれいに整備されている。
 - ・子どもも保護者も安心して遊べる。
 - ・おむつ替えができる。
- ② 思いっきりボール遊びができる場所がある。
 - ・多年齢が交流する場を設ける。
- ③ 自然と共に生活できる。

2 そのために「必要なこと」、「できること」とは？

- ① 秦野の魅力を発信するセンター施設をつくる
 - ・駅を利用する人たち（登山帰りの人たち）に魅力を伝える。
- ② SNSを利活用した魅力を発信する。
 - ・自然と暮らせるまちであることを発信する。
 - ・ずっと住めるまちである。



3. 東中学校区

「人と関わる未来の秦野」

- ◆構成小学校・中学校
東小学校・東中学校

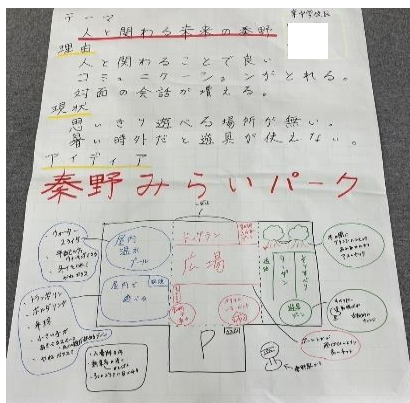
◆検討テーマ

1 あなたが思う「住みたくなるようなまち」とは？

- ① 子どもから大人まで関わり合うことができるまち
 - ・ 秦野の自然を生かしたコミュニティでの関わり合い
 - ・ 子どもから大人まで対面での会話が生まれるような関わり合い
- ② 思いっきり遊べる場所があるまち
 - ・ 老若男女で遊べる場所
 - ・ 東地区の自然や地形を生かした遊ぶ場所

2 そのために「必要なこと」、「できること」とは？

- ① 東地区に「秦野みらいパーク」をつくる。
 - 【屋内ゾーン】屋内温水プール、トランボリン、ボルダリングなど
 - 【広場ゾーン】ドッグラン、動物ふれあい広場、フードコーナーなど
 - 【自然ゾーン】そりすべり、ターザン、遊具コーナーなど
- 全部のゾーンを一斉につくるのではなく、実現性が少しでも高いゾーン（自然ゾーン）からつくる。
→新東名の近くにつくり、他市の観光客も来るようにする。
→秦野駅からのシャトルバスやスポンサーも探す。



4. 北中学校区

「私たちが描く秦野の未来」

- ◆構成小学校・中学校
北小学校・北中学校

◆検討テーマ

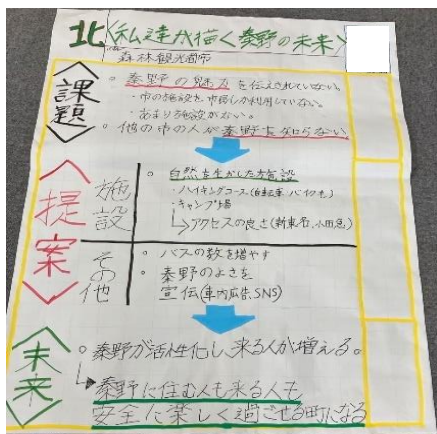
1 あなたが思う「住みたくなるようなまち」とは？

- ① 自然が豊かである。
 - ・丹沢の山々
 - ・美味しい水
- ② 安全に楽しく過ごすことができる。
 - ・街灯の設置
 - ・安全な道路網

→自然豊かで住みやすい都市であることを、知らない人が多いのでは？

2 そのために「必要なこと」、「できること」とは？

- ① 自然を生かした施設づくり
 - ・自転車・バイクも使えるハイキングコース
 - ・新東名・小田急線などのアクセスの良さを生かしたキャンプ場
- ② 安全安心なまちづくり
 - ・バスの本数を増やす
 - ・街灯を増やす
- ③ 秦野の魅力を伝えていく。
 - ・電車内広告
 - ・SNS



5. 大根中学校区

「学校の環境」

◆構成小学校・中学校

大根小学校・広畑小学校・大根中学校

◆検討テーマ

1 みんなが通いたくなる大根地区の学校環境づくりについて

① 学校の設備環境を整える

- ・開放的な環境にし、他クラスと交流しやすくする
- ・空調など QOL を整えることで、授業に集中しやすくする
- ・学校のバリアフリー化をし、様々な人が行き来しやすくする

② 人と人との交流を豊かにする

- ・行事の工夫をし、誰でも参加しやすい活動にする
- ・域内合同で活動することで、生徒、先生にゆとりが生まれる
- ・学年内、他学年、他校など交流の機会を増やす

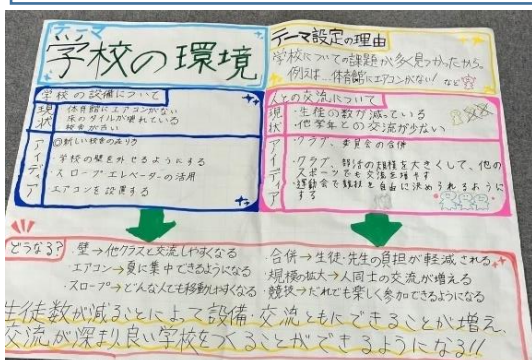
2 そのために「必要なこと」、「できること」とは？

① 学校設備について

- ・建て替えや改築で学校の壁を外したり移動したりできるようにする。
- ・体育館や活動室にもエアコンを設置する。
- ・スロープやエレベーターを設置する。

② 人との交流について

- ・運動会の競技を自分たちで決めるなどし、みんなが自発的になって誰でも楽しく参加できるようにする。
- ・クラブや委員会、部活動を必要に応じて合併し、規模を大きくし、みんなで楽しめるようにする。
- ・地区の児童生徒数が減ることをメリットとして捉え、設備投資や交流を重ねることでできることが増え、良い学校づくりにつながる。



6. 西中学校区

「住みやすいまち」

◆構成小学校・中学校

西小学校・堀川小学校・上小学校・西中学校

◆検討テーマ

1 あなたが思う「住みたくなるようなまち」とは？

～ 「誰でも安心して暮らせるまち」であること～

① 現状

- ・交通の面で、「誰でも安心」に課題がある
(バリアフリーな通路、介助犬の認知、信号機)
- ・獣害がまちで問題にあることがある
(今年、熊がまちに出た)

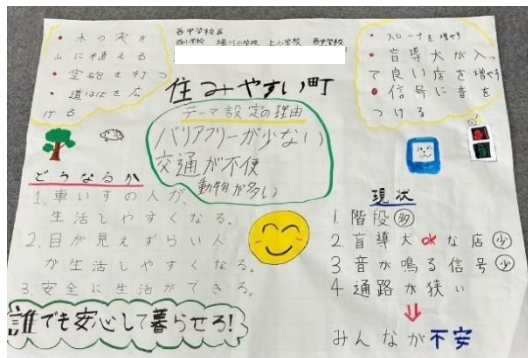
2 そのために「必要なこと」、「できること」とは？

① 人にやさしいまちづくり

- ・公共施設や店の入り口などにスロープを増やす。
- ・介助犬が入店可能な店を増やす(わかりやすいように周知する)
- ・音の出る信号機や視覚的に「あお」の時間がわかる信号機を増やす。

② 動物にやさしいまちづくり

- ・木を植え、木の実を増やすことでまちに動物が降りてこなくする。



7. 南が丘中学校区

「人口と暑さ対策」

◆構成小学校・中学校

南が丘小学校・南が丘中学校

◆検討テーマ

1 あなたが思う「住みたくなるようなまち」とは？

① 大人も子どもが秦野を大好きになる。

- ・ 秦野の良さがわかる
- ・ 子育てのできるまち

② 秦野オリジナルの場所がある。

- ・ 水
- ・ 桜道
- ・ ショッピングモール

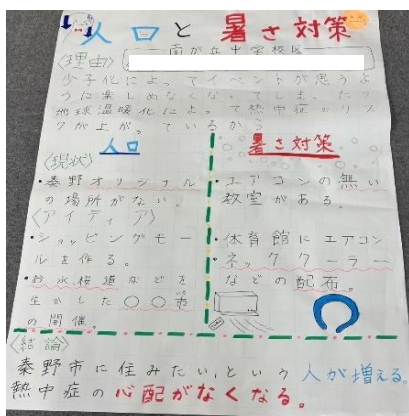
2 そのために「必要なこと」、「できること」とは？

① 秦野を大好きになる環境づくり

- ・ 秦野の良さを使ったお土産づくり
- ・ 暑さ対策として、体育館にクーラ設置やネッククーラの配布
- ・ 周りの良さも認め、全体で協力できる雰囲気

② みんなが楽しめる場所をつくる。

- ・ 子どもから高齢者まで喜んでもらえるショッピングモール
- ・ 楽しく遊べる場所



8. 渋沢中学校区

「楽しく学べる場所を作って優しい気持ちを育もう」

◆構成小学校・中学校

渋沢小学校・渋沢中学校

◆検討テーマ

1 あなたが思う「住みたくなるようなまち」とは？

「優しい気持ちがあふれていること」

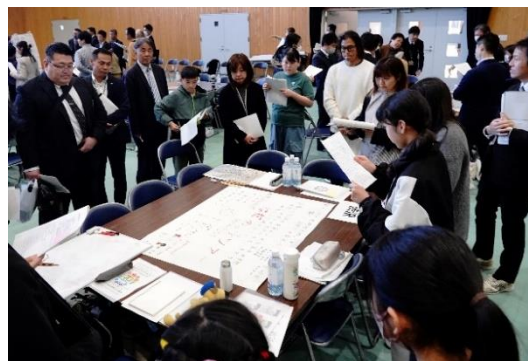
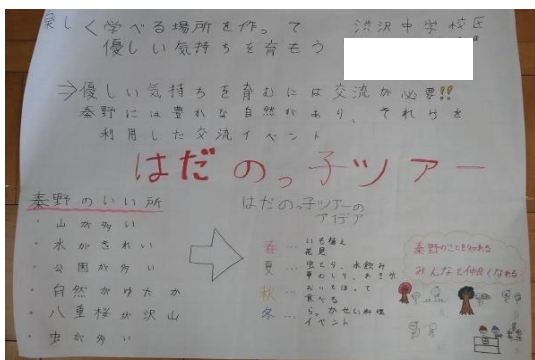
- ① 人と人が交流している。
 - ・ 交流することで、互いのことを知り、仲良くなる。
- ② 自然や動物と触れ合う等、優しい気持ちを育む場所がある。
 - ・ 人と人が交流する機会となる場所があり、その中で互いを思いやる気持ちがうまれる。

2 そのために「必要なこと」、「できること」とは？

「はだのっ子ツアー」

秦野には豊かな自然があり、それらを活用した交流イベントを開催する。

- ① 秦野のよいところを活用した、四季に応じた「はだのっ子ツアー」を定期的で開催し、人と人の交流を図る。
 - ・ 春 八重桜の花見とさつまいも植え体験
 - ・ 夏 虫とりイベントと秦野の名水を用いたかき氷づくり
 - ・ 秋 さつまいもの収穫と紅葉狩り
 - ・ 冬 秦野産の落花生を用いた料理教室
- ② はだのっ子ツアーは学校の「総合的な学習の時間」の授業として位置づけ、児童生徒が主体的に各地区のはだのっ子ツアーを行っていく。
 - ・ 渋沢地区では、中学生や小学生が地域のこども園、保育園の幼児を案内するところから検討していきたい。その後、一般に広げていけるとよい。



9. 鶴巻中学校区

「小・中・地域とのつながりの輪」

◆構成小学校・中学校

鶴巻小学校・鶴巻中学校

◆検討テーマ

1 あなたが思う「住みたくなるようなまち」とは？

① みんなの思いやりがある。(人との繋がりを大切にしている)

- ・ 地域の人みんなが親切。
- ・ 小学生、中学生みんなやさしい。

② みんなで「交流」できる場所がある。

- ・ 鶴巻小、中学校
- ・ 鶴巻温泉駅前
- ・ 公民館 など

2 そのために「必要なこと」、「できること」とは？

① 鶴巻の未来づくり

- ・ 小学生、中学生と地域の関わりを増やしていくことが必要である。
→地域全体の仲を深め、「笑顔を増やす」「まちを明るくする」「鶴巻のよさをまわりに広める」しあわせな未来づくりをする。

② みんなで「交流」できる場所をつくる。

- ・ 小学校でコロナ前まであった「はばたき祭」をバージョンアップして、学校だけではなく地域の人にも参加、招待をしていく。
→小・中学生が主体になり、地域の方と一緒に、小中合同で企画立案し、地域のイベントとして実施する。

